

令和6年度 学校法人鹿兒島竜谷学園 紫原保育園 グランドデザイン

建学の精神

保育される幼児と保育する教師が浄土真宗のみ教えの中にも育てられていくことを目指す。

学園の教育目標

人間形成の基礎が培われる大切な乳幼児期において、宗教的情操教育「まことの保育」と国の教育方針との整合性を図り、感性豊かでたくましく生きる力を育む教育・保育を進める。

まことの保育の理念

親鸞聖人の生き方に学び、生かされているいのちに目覚め、ともに育ち合う。

めざす子どもの姿

- 1 みほとけさまをおがむ子 (信頼・讃嘆・歓喜)
命を大切に、強く明るく素直な子
- 2 ありがとうのいえる子 (照育・反省・報謝)
「ありがとう」「ごめんなさい」が言える子
- 3 お話をよくきく子 (聞法・領解・精進)
お話をよく聞き、よく考えて行動する子
- 4 みんなとなかよくする子 (報恩・和合・奉仕)
友達と仲良くし、助け合い、元気に遊ぶ子

生かされて
ともに育ちあう



めざす教職員の姿

- 1 子どもと共に育つ教職員
浄土真宗の見教えの中に自らの人間性を高め、子どもたちと共に育ち合う教職員
- 2 学び続ける教職員
「まことの保育」の実践者として、自らの資質向上に努める教職員
- 3 子どもの心に寄り添う教職員
一人一人の可能性を伸ばし、「生きる力」を育てる教職員
- 4 保護者や地域の方々に信頼される教職員

幼児期の終わりまでに育ってほしい「10の姿」

【知識・技能の基礎】

【思考力・判断力・表現力の基礎】

【学びに向かう力・人間性等】

本年度の重点課題

【保育力の向上】

- 1 園内研修の充実
 - 「子どもとともにある保育者」としての自覚と責任をもつ。
 - **特別支援教育の充実**
- 2 教育課程の見直しと改善
 - 教育・保育要領等の共通理解と教育課程の確実な実施に努める。
- 3 研修歴の記録・研究保育の実施
 - 個人のライフステージに応じて意図的・計画的な研修に努める。
- 4 業務改善による効率的な業務推進
 - 安全衛生推進委員会を充実し、働きやすい職場作りに努める。

【報恩感謝の心の育成による紫原ファンの獲得】

- 1 誠意ある対応
 - 保護者や来園者に対して、進んであいさつに努める。
- 2 子どもの居場所づくり
 - 子どもの気持ちに寄り添い、優しさと厳しさのある保育に努める。
 - 常に保護者との連携に努める。
- 3 園児数拡充のための紫原ファンの獲得
 - 地域と共にある園であることを自覚し、地域行事への参加や社会貢献に努める。

【安心・安全な教育・保育の推進】

- 1 安心・安全な環境づくり
 - 職員の見守り・声かけの強化、確実な安全点検の実施、衛生管理の徹底に努める。
- 2 子どもを認める環境づくり
 - 掲示板等の設営やホームページの充実にも努めるとともに、子ども一人一人のよさを認める広報活動を推進する。
- 3 明るく清潔な園づくり
 - 定期的な清掃活動に努める。
 - 季節感・清潔感のある環境作りに努める。
- 4 読書環境づくり
 - 読み聞かせの充実に努める。

★ 「まことの保育」年間主題一覧

月	主題	園児の目標	月	主題	園児の目標
4	信順 (おがみます)	私たちは、仏様を拝む子どもになります。	10	聞法 (よくききます)	私たちは、よく聞く子どもになります。
5	讃嘆 (たたえます)	私たちは、仏様をほめる子どもになります。	11	領解 (こころがけます)	私たちは、決まりを守る子どもになります。
6	歓喜 (つよくのびます)	私たちは、強くのびる子どもになります。	12	精進 (つとめます)	私たちは、がんばる子どもになります。
7	照育 (あおぎます)	私たちは、仏様のお育てを感じる子どもになります。	1	報恩 (よろこびます)	私たちは、「ごおん」を喜ぶ子どもになります。
8	反省 (かえりみます)	私たちは、「ごめんなさい」と言える子どもになります。	2	和合 (なかよくします)	私たちは、仲良くする子どもになります。
9	報謝 (はげみます)	私たちは、「ありがとう」と言える子どもになります。	3	奉仕 (てつだいます)	私たちは、お手伝いをする子どもになります。